

中部標準化懇話会 2022 年度 第4回標準化活用勉強会 報告

- 開催日 2023 年 3 月 1 日(水)13:30~15:30
- 会場 日本規格協会 名古屋支部 セミナーホール
- 講演者 伊藤 佳世氏(中部大学経営情報学部経営総合学科准教授)
- テーマ 標準化教育ワークショップのご紹介
- ・標準化教育テキストを活用しワークショップを実施
 - ・世界を救え、SDGs と超スマート社会の標準化教材
- スケジュール 13:30~14:30 グループに分かれワークショップ実施
14:40~15:30 ディスカッション(Q&A)
- 作成者 勉強会部会幹事 尾関 正義 記
- 報告記 現在、SDGs(持続可能な開発目標)に対応した経営を行っていくことは企業にとって必須の取り組み事項(標準化)になってきている。しかしながら各企業にとって何に取組めばお客様から共感を得られる SDGs への取り組みになり、かつ、ビジネスの機会創出になるのかを見つけ出していく事は大きな課題となっている。
- そこで、本勉強会ではこの課題への解決策を参加者自身が企業の経営者になったつもりで考え、また、ビジネス視点だけでなく、お客様からも共感を得られるものにするために、他の参加者から意見をもらい討議するグループごとのワークショップ形式で行われました。

グループ討議

グループ内で2班に分かれ、各班でSDGs17のターゲット毎に準備された複数の取り組み事項の中から一つを選び、班のメンバーが社長になったつもりでそれに取り組む理由をお客様にみたてた他の班のメンバーに説明し、他の班のメンバーが納得するまでの討議を行う。(17のターゲットすべてに対して実施)

グループ討議後、参加者一人一人、参加者の企業にてSDGs対応として取り組むことができる内容を自身で考え、参加者全員へ発表。

SDGsへの対応は地球環境にとって必須な取り組み事項であり、かつ、企業にとっても必須(標準化)の取り組まなければならない時代になっている。

今回の勉強会では、SDGsを社内で標準化していくにあたり、ビジネス視点だけになりがちな対応内容を、参加者がお客様視点で評価することにより、どうすればお客様からも共感を得られるものになるのかを考える機会となり、各企業にとって取り組み事項の精度UPにつながる非常に有益な勉強会であった。